



高麗中学校だより

# 日和田

令和6年・2月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

## 春はそこまで来ている

校門の坂道を上り、見上げると紅梅の花。高麗中の春の訪れを静かに教えてくれます。あっという間に1月が終わり、2月、3月。そして、春になれば卒業、進級など大きな変化が待ち受けています。

2月は先を読んで準備する「準備力」が必要です。インフルエンザの感染拡大で予定通りにならなかった1月。しかし、それを創意工夫で乗り越えた高麗中生。しっかりと備え、春を迎えましょう。



## 高麗中検定

1月10日、第3回高麗中検定が実施されました。レベル1からはじまった高麗検。今回はレベル3(中3程度)まで挑戦できます。1年生でレベル3に挑戦した人もいました。

調べる、聞く、頑張る…自分の力を伸ばすための「やり方」を見つけるための高麗検。やった分の成果を感じる高麗検。そして、何度でも再受検=チャレンジできる高麗検。

第2回高麗検の再テストが12月28日と1月5日に実施され、見事合格して第3回検定で次のレベルに挑戦した生徒もいます。

出来るまでチャレンジ!高麗中生に「粘り強さ」という新たな強みが生まれました。

## 土石流災害対応の避難訓練

行事予定で予定を伏せていた避難訓練。学期はじめの学級指導で、元日に発生した能登半島地震に触れ、高麗中で最も危険な自然災害と思われる土石流について考えてもらいました。

通常地震、火災の避難経路とは違い、土石流の場合は北校舎4階が一番安全。

予告せず昼休みに突然緊急放送を流したため、生徒が居た場所は様々。校庭から駆け上がり上履きを脱ぎ素足のまま避難した生徒、図書室で読みかけの本を置いたまま避難した生徒。本番さながらの真剣な避難訓練ができました。備えあれば憂いなし。

## 高麗の風景

### ・手を振りながら笑顔で

ある金曜日の下校時、裏門から下校する2年生が、北校舎の廊下の窓を閉めようとしている私に気づき、手を振りながら笑顔で「さようなら」と声をかけてくれました。距離は離れていても十分に伝わる笑顔と声。一日の終わりがこんなに清々しく感じたことはありません。伝わる笑顔、伝わるあいさつ…伝わる心。心温まる行動に拍手!

### ・臨機応変に

1月18日は生徒会主催の人権集会。当初は体育館で1年生から3年生までの混成のグループを作り、学年を越えた話し合いを進める予定でした。ところが集会当日、発熱による欠席や早退者が増えた学年があったため対応を検討。

集会を中止するか否か? 生徒会担当を中心に協議し、リモートによる集会案が浮上。「想定外の実施方法で対応出来るのか?」と、私が担当に確認すると「生徒会の役員は臨機応変に対応できるはずです。」と力強い言葉が返ってきました。

本番を迎え緊張しながらもスムーズに集会を進行する生徒会役員。ICT機器を使って学級ごとの発表をこなす学級委員。1年生から難なく使いこなしている様子に正直驚きました。リモートだからこそ言えた意見。機器の利点を上手に活用した集会となりました。

何より臨機応変に対応できた生徒会をはじめとした高麗中生に、あっぱれ!です。